



久留米市立三瀨小学校 学校だより No.10

# ぎんなん

令和5年1月24日  
校長 原文也  
児童数 474名

学校教育目標「未来を拓く子どもを育てる三瀨小の全人教育」

## PTAあいさつ運動～ありがとうございました

3学期始業式の1月10日(火)から16日(月)まで、子どもたちが登校してくる時間帯に、PTAの本部役員さんと各常置委員会の皆様によるあいさつ運動が行われました。朝のあいさつで、子どもたちが一日を明るく元気に過ごせるようにしたいという思いから、7年前に始まった取り組みです。



12日(木)には、あいさつ大使の平岡三光先生にもご来校いただき、PTAの皆様と一緒にあいさつ運動に参加していただきました。平岡先生は、いろいろな学校や市役所などで、毎日のようにあいさつ運動をされています。高校の教員時代から校門などに立ち続けてある平岡先生。あいさつ運動を始めて58年目になられるそうです。「あいさつは人を思いやる心を育てる」を信念に、私が生まれる前から取り組まれている、正真正銘、本物の取り組みです。平岡先生は、あいさつの「5S」を大切にされています。

Stop ストップ(立ち止まって) Smile スマイル(笑顔で) Speedy スピーディー(相手より早く)  
Spirit スピリット(心を込めて) Spark スパーク(元気よく)

三瀨校区では、各地域の子ども安全パトロール隊の皆様も、登下校時、子どもたちの安心・安全を見守りながら、あいさつをしてくださっています。保護者の皆様や地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。今後とも、よろしく願います。私も微力ながら、校門や児童昇降口の前で、毎朝、子どもたちとあいさつを交わし続けていきたいと思ひます。

## 成人式「はたちのつどい」に参加して



1月8日(日)に本校体育館で、三瀨校区成人式「はたちのつどい」が行われました。コロナ禍以前は、三瀨中学校区単位で行われていましたが、感染拡大防止のため、3年連続での小学校区ごとの開催となりました。

本校の卒業生である新成人のみなさんが集い、三瀨校区まちづくり振興会の古賀会長様をはじめ、6年生時の恩師の奥菌先生や田中先生からお祝いの言葉が贈られました。成人の主張では、「幼い頃からの夢であった警察官になるという夢を志半ばで諦めざるを得なくなり、自暴自棄になっていた自分を家族や友達、地域の方が温かく支えてくださったおかげで、新しい夢に向かって歩み出すことができました。」「脳の研究者になりたいという夢を叶えるには、とても大変で険しい道が続きます。様々な場面で運も必要になると思う。しかし、精一杯の努力を続けることによって、その時その時の運の要素を薄めることができると思うので頑張っていきたい。」と、周囲の方々に対する感謝の気持ちや夢の実現に向けての力強い意気込みが聞かれ、三瀨校区の方々の温かさや未来の明るさを強く感じました。式典の間、成人のみなさんの聞く態度が大変よく、司会進行や謝辞も素晴らしく、とても感動しました。式典終了後には、思い出の写真スライドショーや成人のみなさん一人一人の近況報告、集合写真の撮影がありました。体育館を出られた後も、久しぶりに再会し、笑顔で懐かしそうに話をしてある姿を見て、微笑ましく感じました。きっと、一人一人の思い出に残る成人式になったことだと思います。成人のみなさんの今後のご活躍をお祈りいたします。また、このような素晴らしい式を開催してくださいました地域の皆様、ありがとうございました。

# 三 瀧 地 域 人 権 講 演 会

12月8日(木)、三瀧生涯学習センターにて三瀧地域人権講演会が開催されました。本校のほとんどの教職員が参加し、保護者や地域の方々も来られていました。子育てシンガーであるmonさんによる講演(トーク&コンサート)がありました。二人の子どもの母親であるmonさん。在日韓国人やADHD(注意欠陥多動性障がい)であるがゆえのいじめられた経験。そして、子を亡くした悲しみや体外受精を体験したからこそ気づけた「いのち」の大切さなどを歌と語りで伝えられました。「うまれてきてくれてありがとう」のテーマどおり、子どもたちへの愛情や思いがあふれた心に響く講演でした。

講演に先立ち、本校と犬塚小の児童による人権作文の発表がありました。本校からは、6年生の田渕成さんが、代表して発表してくれました。練習の成果を見事に発揮した素晴らしい発表で、作文に込められた成さんの思いがとても伝わってきました。全文は、およそ800文字の力作ですが、紙面の都合上、作文の概要を紹介します。



名前は、親から最初にもらった大切なプレゼント。ぼくの名前の由来は「何事も成功してほしい。」という願いをこめてつけられた。ぼくは、「成」という名前を大切にしている。

この「名前」というプレゼントを悪口に変え、あだ名にしている人がいる。言われた人は、とてもいやな気持ちになっている。ぼくも以前、友達に見た目のことを言われたり、からかわれたりしたことがあり、ものすごく悲しい気持ちになったので、そのいやな気持ちがよく分かる。

心の傷は、決して治らない。謝られたとしても、心の傷は一生取れることはない。だから、これ以上、いじめや差別を起こしてしまえば、だめだと思う。一人一人が、からかいやいやがらせをやめないと、絶対にいじめや差別はなくなる。

名前やいじめ、差別について、もう一度考えてほしい。そして、自分の名前をこれから大切にしてほしい。

心の傷は一生治らないから、絶対にいじめや差別をしてはいけないという成さんの思いが込められています。チーム三瀧(学校・家庭・地域)全員で、差別やいじめのない学校や社会をつくっていきましょう。

## お知らせ(厚生労働省より)

厚生労働省より、「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」について案内がありました。これまでも、この制度はありましたが、対応期間が令和5年3月31日まで延長されています。この助成金・支援金は、新型コロナウイルス感染症の影響による学級閉鎖等や、子どもが新型コロナウイルスに感染した等の事情により、保護者が子どもの世話をを行う場合に、次のとおり支給されるものです。

- ① その保護者を雇用している企業が、年次有給休暇ではない別の有給休暇を保護者に取得させた場合の企業に対して
- ② 業務委託契約等により、保護者が個人で受けていた仕事ができなくなった場合の保護者に対して

制度の詳細を確認したい場合は、次のURLにアクセスしてください。

[上記①について] [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/pageL07\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_00002.html)

[上記②について] [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_10231.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10231.html)

お問い合わせなどありましたら、小学校休業等対応助成金・支援金コールセンターまでお願いします。0120-876-187(土日・祝日含む9:00~21:00)